



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

★国際ロータリー第2740地区 長崎北東ロータリークラブ

2021~2022年

週報第14号

(通算2202号)

例会:令和3年12月8日

会長挨拶 浜本 義文



今日は開戦80周年の記念日を考える。1941年(昭和16年)12月8日午前3時19分(現地時間7日午前7時49分)、日本軍がハワイオアフ島真珠湾のアメリカ軍基地を奇襲攻撃し、3年6ヶ月におよぶ太平洋戦争が勃発しました。「12月8日午前零時を期して戦闘行動を開始せよ」という意味の暗号電報「ニイタカヤマノボレ1208」が船橋海軍無線電信所から、(色々諸説ありますが)佐世保の針尾無線塔を中継して送信され、戦艦アリゾナなど戦艦11隻を撃沈、400機近くの戦闘機を破壊して、攻撃の成功を告げる「トラトラトラ」という暗号文が打電されました。元々は、ワシントンで交渉していた野村、来栖両大使がアメリカ側に最後通告を手渡してから攻撃を開始することになりましたが、最後通告の文書の作成に時間がかかったため、結果的に奇襲攻撃という形になってしまいました。1941年(昭和16年)の春から、日本はとにかく日米交渉、対米交渉で非常に苦労していました。なんとかして日本の国益もメンツも守りながら、アメリカと戦争しない方向を探ろうと大変な苦労を続けていました。同年7月から第三次近衛内閣を組織していた近衛文麿首相は、駐日アメリカ大使と会談し、ルーズベルト大統領と直接会って、日米首脳会談でなんとか日米戦争を回避したいと強く訴えました。しかし、アメリカは妥協ではなく力によって日本を封じ込めるべきだとして、アメリカ国務省は日米首脳会談を事実上拒否する回答を日本側に示しました。こうして、東京にいる駐日アメリカ大使も、駐日イギリス大使も祈るような気持ちでその実現を期待していましたが、近衛首相の和平提案はみごとに潰れてしまいました。この和平提案は、アメリカの外交目的のほとんど全部を達するようなものでした。日本はもちろん満州を放棄するとは言っておりませんが、満州のことについてもアメリカの権益に便宜を図ってもいいという考えがありました。さらに同年11月には、昭和天皇が日米交渉を3ヶ月凍結しようとの提案がありました。天皇陛下のお考えとしては、いくら日米交渉をやっても、現状では行き詰まっている、どうしようもない。来年の春まで3ヶ月間、日米交渉を凍結して、また3ヶ月後の来年2月からもう一度交渉を始めようじゃないか、そうしたら、国際状況がいろいろ変わっているから、お互いの考え方を変わっていくのではないかということです。天皇陛下は駐日米国大使を通じて、行き詰った日米交渉において3ヶ月間の冷却期間をおいてはどうかとの提案をされました。日本には多くの工場、優秀な労働力を抱えていましたが、原料を産出することができませんでした。蚕を除いては、国産の資源はほとんど何もありませんでした。綿が無く、羊毛が無く、石油の産出が無く、スズが無く、ゴムが無く、その他にも多くの資源が欠乏していました。これらの資源が絶たれた場合には、日本では1,000万から1,200万人の失業者が生ま

れるであろうとの恐怖感がありました。こうして、交渉の場を失わされた日本は、安全保障上の必要に迫られて、仕方なく戦争に踏み切ったのです。ルーズベルト大統領は、ヨーロッパの同盟国がナチスドイツに苦戦しているのを見て、参戦したくてたまりませんでしたが、国内世論が戦争反対だった。議会の承認を得るために理由が欲しかった。そのきっかけを作ってくれたのが日本の真珠湾攻撃だったとすれば、一番、戦争を喜んだのはルーズベルト大統領だったかもしれません。

【幹事報告】

●岩永信昭会友が11月、冠名基金として多額の財団寄付をされましたので、今回メジャードナー・レベル3になられました。
財団より認証品が届きました。



代読
南里 敏洋

●12月のロータリーレート 1ドル=114円

●例会休会・変更

- 長崎みなとRC 12月14日(火) 18時30分～
忘年例会 マルシェドリッシュ
12月28日(火)、1月4日(火) 休会
 - 長崎出島RC 12月17日(金) 12時30分～
職場訪問例会 ヒルトン長崎
12月31日(金)、1月7日(金) 休会
 - 長崎西RC 12月21日(火) 18時30分～
忘年例会 サンプリエール
1月11日(火) 18時30分～ 新年例会 京華園
12月28日(火)、1月4日(火) 休会
 - 長崎北RC 12月27日(月) 休会
1月14日(金) 18時～
新年例会 ヒルトン長崎
 - 長崎東RC 12月24日(金) 18時～
忘年例会 サンプリエール
12月31日(金) 休会
 - 長崎北東RC 12月29日(水)、1月5日(水) 休会
- 和令4年1月12日(水) 新年例会 18時30分～ 寶來軒
出欠の記入をお願いいたします。
- 例会後、第4回ノミニ一選考委員会をいたします。

今後の予定

●12月15日(水) クラブ協議会 2回目

●12月22日(水) 年次総会

●12月29日(水) 休会



ニコニコ発表
馬場崎会友

浜本:本日はクラブ協議会です。各理事、役員の皆様、発表を宜しくお願い致します。

岩永(信):先週、例会で25年連続出席の地区大会での表彰を改めて祝って頂きありがとうございました。会長、幹事、事務局のお心づかいに感謝します。

大坪:本日の例会楽しみたいです。

鬼塚:先週、例会欠席しましたが、入会5年目のお祝いありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。

辻村:本日はよろしくお願ひ致します。

丸木:本日の卓話、上半期活動報告、理事、委員長の皆様よろしくお願ひ致します。

森(正):お疲れ様です。明日は第2回ゴルフ同好会のコンペです。天気も良さそうなので、よろしくお願ひします。優勝を目指します！

小計: 7名/¥16,000

累計: 178名/¥469,200

会長エレクト



今年度のロータリー活動はコロナ禍も少し落ち着きまして通常の例会が行われています。まだ第6波の到来も心配ですが下半期も通常例会が開催されることを望むばかりです。上半期のエレクトの行動としては、開催された清掃活動、青少年育成行事などに参加し、現会長・幹事の活動を目で見て勉強する事をしました。後、毎月させて頂いている(四つのテスト)があります。毎月スムーズに発信できていないので下半期はスムーズに発信していきたいと思います。あと半年間少しづつ準備していきたいと思っております。

クラブ管理運営部門



クラブ管理運営部門には、職業分類・会員選考委員会、ロータリー情報委員会、出席委員会、親睦活動委員会、プログラム委員会と5つの委員会から構成されています。クラブ管理運営部門の役割は、クラブの円滑な運営を助けることにあります。そこで、会長の方針に従って、各委員会の委員長とコミュニケーションを取り、ロータリアンの皆様が、楽しく充実感をもって、活力あるロータリーライフを送ることができるように努力致します。コロナが終息するまでは、行動に制限がありますが、蔓延防止対策を充分にとって活動していきたいと思います。職業分類・会員選考の丸木委員長以下、各委員会委員長に報告をしていただきます。

職業分類・会員選考委員会 上半期の活動状況を報告致します。期首の会員数は39名でした。上半期は、たしかに信用金庫住吉支店の支店長交替により安田智明会友が退会され、変わりに田中智幸会友が9月29日に入会して頂きました。職業分類・会員選考委員会としては、交替ということで、特別に審査は行いませんでした。又、前田秀樹会友が10月30日をもって退会されましたので、現在の会員数は38名となりました。なかなか新入会はありませんので、会友の皆様にはRI会長 シェカール・メータ氏が呼びかけているように“みんなが一人を入会させよう”という目標に向かって、全会員が積極的に努力して頂きたいと思います。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

ロータリー情報委員会 上半期の活動報告としては、コロナ禍の中で、特に報告することはありません。下半期は、3年末満の会員を対象に、勉強会と親睦を兼ねた研修会を実行します。尚、地区大会の参加人数は15/38名で、このような状況でしたので無理のないように控えました。

出席委員会

● 7月 例会数 4回 出席率 76.2%
● 8月 例会数 1回 出席率 81.1%
● 9月 例会数 1回 出席率 83.8%
● 10月 例会数 4回 出席率 78.7%
● 11月 例会数 2回 出席率 80.6%

出席率100%DAYは、ガバナー公式訪問がなかった為、今回は実施していません。

親睦活動委員会 上半期の親睦活動委員会の活動報告としては、例会でのニコニコの発表や月初には御祝を迎えた方の発表を行いました。また昨年コロナ禍により思うように出来なかった夜例会の開催は、会友皆様の親睦をより一層深めて頂く為にも、親睦活動委員会の最重要課題と位置付け、入念に準備を進めて参りました。納涼例会では旬の話題だったオリンピックをテーマにしま

した。観月会は残念ながら中止となってしまいましたが、忘年例会では30名近くの会友の皆様に出席を頂き楽しいゲームを実施する事が出来ました。来年の事になりますが、1/12(水)下半期最初の新年例会では、【今年の抱負】をテーマに、会友の皆様には2022年の抱負や意気込みを漢字一文字で表して頂き発表して頂きながら、楽しい時間を過ごせればと思いますので、皆様のご協力を宜しくお願ひします。残り下半期もコロナ禍に負けず全ての夜例会を開催する事を目標とし、会友の皆様に少しでも楽しんで頂ける例会になるよう、親睦活動委員会メンバーと協力して実施して参ります。来年も宜しくお願ひ致します。

プログラム委員会

上半期は、卓話のプログラムは皆さんの協力を頂き、順調に推移しました。ただ、本年度もコロナの影響で8月から9月にかけ5回の休会を余儀なくされ、そこが非常に残念でしたが、後半は今の状況でいけば、休会の心配もなさそうですので、あと2、3枠は空いている日もありますので、誰か卓話者を推薦頂ければと思います。もし卓話者の推薦がない場合は名簿の名前順により内部卓話をお願いしますので、その時は、名簿名前順一番の井口さんが卓話をすることを、既にご了承いただいておりますので、井口さんよろしく！後半もよろしくお願ひいたします。

会場監督

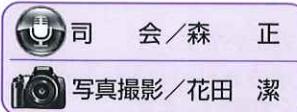


この上半期の半年間、秩序正しく、魅力ある楽しい例会運営をはかる為、8名の当番体制での委員全員の協力の元、司会進行、並びに資料配付、ゲストのお出迎え、例会時に私語の軽減等、円滑に司会進行出来た…とは言えません。8名だったメンバーも2人減り、私語も一部の方の私語を軽減する事が出来ませんでした。しかしメンバーが減った事でロータリー歴の短い会友も経験を積みやすくなり、軽減できなかった久保田会友の私語のおかげで、少しは楽しい例会を円滑には進める事が出来ているのではないかと感じます。下半期は今期掲げた目標のうち、和気あいあいとし楽しい雰囲気も大切にし、会友が出席したいと感じられる魅力ある運営、を達成すべくSAAのメンバーと共に作り上げていきます。

会員増強部門

今期2021～2022年度“地区の会員増強目標”は(会員数)30名未満のクラブ:純増2～3名、(会員数)30名～50名のクラブ:純増3～4名、(会員数)50名以上のクラブ:純増4～5名、女子会員の増強に努める。という努力目標が、ガバナー事務局より来ていますが我が長崎北東ロータリークラブは、2024年に創立50周年を迎えるにあたり、前期会員増強部門“猪股貢一郎理事”的意思を引き継がせていただき、50周年という記念すべき年に会員数70名を目指しての「50～70」運動の努力を継続させていただきたいと思いますので、会友の皆様のご協力を引き続きお願い致します。「活動指針(会友全員増強委員長)と前期同様」に活動をお願い致します。活動計画としては…①毎月会員増強委員会を通じて“情報収集会議”を行う。②前期発足しました“会員増強プロジェクトチームの見込者”に対して、勧説活動を行う。(メンバー:会長、幹事、チームリーダー、チームの会友)※新入会員:花田潔会友→猪突猛進／森正会友→愛の不時着／安田智明会友→口先三寸 ③入会決定していただく迄、勧説活動を行う。(メンバー:会長、幹事、チームリーダー、チームの会友)

戦略計画委員会 (委員長 山口裕) 上半期、“コロナ禍の中”と“自身の体調不良”で、なかなか活動が積極的に出来ませんでした。下半期にのぞみたいと思います。



創立/昭和49年4月30日
承認/昭和49年5月22日
例会日/毎週水曜日 12:30～13:30
例会場/長崎新聞文化ホール「アストピア」

事務局/長崎市目覚町8-11-301
TEL 843-6635/FAX 845-9411
URL <http://nerotary.org/>

今日のメニュー



	全員総数	Home Club出席数	Home Club欠席数	Make-up	免除者	修正出席率	出席率
11月24日	38	26	10	2		77.8	
12月8日	38	26	10		2		72.2

月間出席率	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
前年度	81.5	79.5	81.8	78.6	74.3	76.3	0	0	81.6	81.1	0	85.3
本年度	76.2	83.8	83.8	78.7	80.6							